土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般国道191号　道路災害防除事業に伴う業務委託（落石対策）

事業名 または 工事名　一般国道191号　道路災害防除事業に伴う業務委託（落石対策）

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	No. 1	**調査位置**	広島県山県郡北広島町戸谷地内			**北緯**	34° 38′ 27.193″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			**調査期間**	2020年 10月 28日 ～ 2020年 10月 30日	**東経**	132° 21′ 47.011″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 303.40m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 13°	**使用機種**	**試錐機**	東邦D-1
総削孔長	6.00m								**エンジン**	ヤンマーNFD-12	**ポンプ**	東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	303.00	0.40		砂質礫		淡褐灰	rd1			表層5cm，コンクリート。 径5～50mmの礫と粗砂。上部空隙あり。	
1				砂礫		暗褐灰	rd3			径10～20mmの礫と粗砂からなる砂礫。 深度0.45～0.65m間，硬質玉石。 層上部は円礫が多く礫種は比較的雑多。	
2	301.60	1.80		粘土混じり砂礫		暗青褐				径10mm未満の安山岩岩片が主体。粘土分を少量含有し，崩積土状を呈する。	
	300.70	2.70									10/29 3.12
3				安山岩		暗青灰				安山岩の破砕部（軟岩）。 岩片状コア主体。 岩片は比較的硬質であるが，傾斜60～70°の割れ目が発達。 割れ目沿いは著しく破砕され，部分的に粘土化している。	
4											
5											
6	297.40	6.00									
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	1.15	1	2	2	5 / 300		
	1.45						
	2.15	3	4	3	10 / 300		
	2.45						
107	3.00	32	18 / 40		50 / 140	140	
	3.14						
	4.00	50 / 0			50 / 0		
	4.00						
	5.00	50 / 0			50 / 0		
	5.00						
	6.00	50 / 0			50 / 0		
	6.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.15	P-1	⊖			
1.45					
2.15	P-2	⊖			
2.45					
3.00	P-3	⊖			
3.14					
					10/28
					10/29